

メールはテキスト形式で

2019 年 3 月 21 日

By ミケパパ

先日のパソコンクラブの例会で、セキュリティ上の心得として「メールはテキスト形式で送受信しよう」と教わりました。

通常、Outlook メールその他のメールソフトは、初期設定が「HTML 形式」のメールになっています。これは、ワードやエクセルと同じく、文字に色をつけたり、文字サイズを変えたり、色々と「修飾」ができますし、画像の表示ができてメールの見栄えが良くなります。それ故、アマゾンやグーグルなどの大手 IT 関連企業はユーザーへのメールに HTML 形式メールを使っています。

一方、HTML 形式のメールは、HTML 自身がプログラム言語であるため

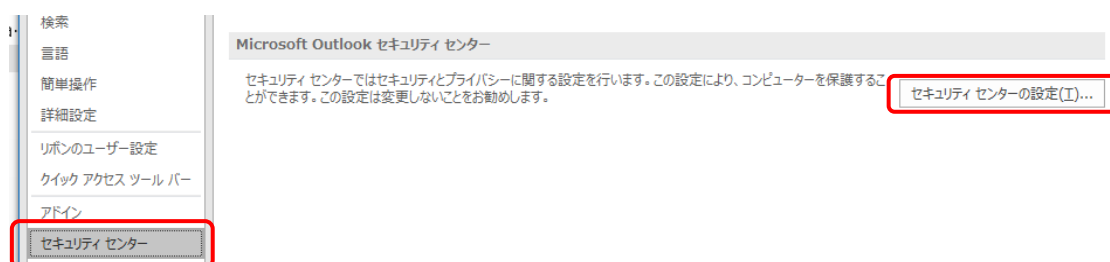
- ① メール本文中にウィルスを仕込むことができる → メールを開くとウィルスが作動し、感染する
- ② 本文内の画像をクリックすると、メール受信者が「メールを開いた」ことが確認される → 悪い奴にこちらのアドレスが「存在している」ことを知らせることになる

といった問題があるようです。「ウィルスへの感染」は、ほとんどが「添付ファイルを開く」ことが原因ですが、このように「本文に仕込まれたウィルス」もあるのです。

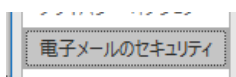
ネット情報ですと、2003 年ごろに被害が多くなりましたが、現在は送信側での対策が進んでいるようです。しかし、原理的に HTML メールには「本文にウィルスを仕込む」ことが可能であるため、危険はなくなりません。それ故、民間企業では一般的に「メールはテキスト形式しか許さない」という規制をしているのだとかこの対策として、皆さんがお使いになる送受信のメールは、「テキスト形式で送信・受信する」ように設定することをお勧めします。

設定方法：（Outlook2016 の場合）

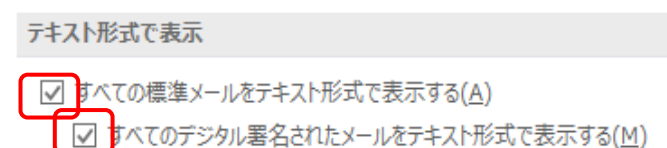
1. Outlook の画面で「ファイル」タブをクリック
2. 左の欄の「オプション」をクリック
3. 出てきた画面左下の「セキュリティセンター」をクリック
4. 「セキュリティセンターの設定」をクリック



5. 左側欄の「電子メールのセキュリティ」をクリック

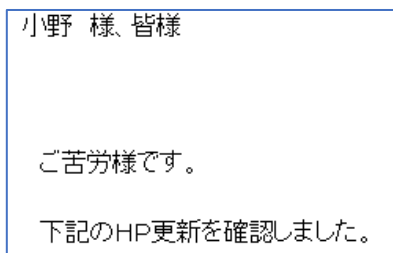


6. 「テキスト形式で表示」の「すべての標準メールをテキスト形式で表示する」及び「すべてのデジタル署名されたメールをテキスト形式で表示する」にチェック✓を入れる

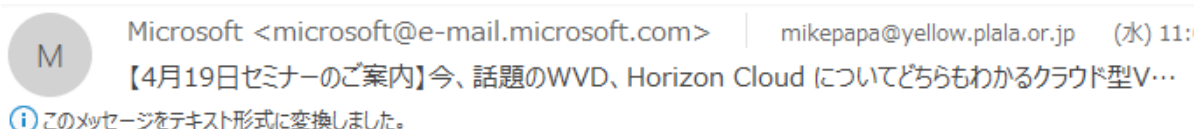


7. 「OK」をクリック

テキスト形式に設定しますと、メール本文の行間が今までより離れたものがたまに現れます。



又、画像のあるメールでは画像の表示が URL アドレスに変わります。例えば、マイクロソフトからの宣伝メールは以下のように表示されます。



<<https://click.email.microsoftemail.com/open.aspx?ffc10-fe8d11797561037b77-fdf91573736001797c107576-fecc15727663047b-fec21c767365017e-fdf91575706507757114737d-ff63117072>>
このメールが正しく表示されない場合は Web ページをご覧ください
<<https://view.email.microsoftemail.com/?qs=6014c6252b155e41f763b1cd067d3d89eccd88ca5aea781c6be022db4083d136dcad47d8ab68a93cdcfcfb89b3f47b65bb690bdb3a3b5688f76a99c541b8bda72d6c331db20b9f3570ade2150c4489bf15de30e904cb200>> .

これを元の「画像」が見えるようにするには、表題の下の「このメッセージをテキスト形式に変換しました」という文字をクリックすると出てくる「HTML に変換」をクリックします。

このメールが正しく表示されない場合は [Web ページをご覧ください](#)。



しかし、「見づらいから」という理由でせっかくテキストで受信したメールを「HTML 形式」に変換しなおしますと、潜伏していたウィルスが「顔を出す」そうです。必要な情報は文字の部分で確認できます。ここは慣れましょう。

以上